

## 令和7年度 学校評価に係る関係機関職員アンケート（北海道療育園）

〈回答数〉

22 (准・看護師11、保育士2、生活支援員5、児童指導員3、事務員1)

〈評価基準〉

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない ?：わからない (%)

	評価項目	A	B	C	D	?
1	児童生徒は、楽しく授業を受けている。	50.0%	36.4%	0.0%	0.0%	13.6%
	?を除いてA・Bが100%であり、児童生徒が学校や授業を楽しみにしていると評価されている。 今後も児童生徒が、分かる・できる・楽しい授業の実践に努めていく。					
2	評価項目	A	B	C	D	?
	学校の授業内容は、児童生徒一人一人の能力や発達段階にふさわしい内容である。	31.8%	40.9%	4.5%	0.0%	22.7%
	?を除いてAとBの合計が約94%であり、適切に実施していると評価されている。 今後も療育園職員との日常の情報交換や懇談等の内容を参考に授業内容の一層の充実に努めていく。					
3	評価項目	A	B	C	D	?
	学校の授業は、児童生徒一人一人の障害の状態や課題に応じた教材やICT機器が使われている。	27.3%	50.0%	0.0%	0.0%	22.7%
	?を除いて、AとBの合計が100%であり、適切に実施していると評価されている。 今後も、療育園職員との日常の情報交換や懇談等の内容を参考に、教材の工夫やICT機器の一層の利活用に努めていく。					
4	評価項目	A	B	C	D	?
	学校の教員は、児童生徒の人格や人権を尊重した指導を行っている。 (呼称・態度・言葉遣いなど)	54.5%	40.9%	4.5%	0.0%	0.0%
	AとBの合計が約95%であり、適切に実施していると評価されている。 今後も児童生徒の人格や人権を尊重した指導を実践していく。					
5	評価項目	A	B	C	D	?
	学校の教員は、児童生徒の安心・安全に配慮した指導を行っている。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	AとBの合計が約100%であり、適切に実施していると評価されている。 今後も日常の情報交換や懇談等を通じて安心・安全に関する意見等を伺いながら一層の充実改善に努めていく。					
6	評価項目	A	B	C	D	?
	学校の教員は、身だしなみや言葉遣いが適切である。	45.5%	40.9%	13.6%	0.0%	0.0%
	AとBの合計が86%であり、適切に実施していると評価されている。 今後も教職員としてのふさわしい身だしなみや言葉遣いを心がけていく。					
7	評価項目	A	B	C	D	?
	学校の教員は、児童生徒の連絡や相談などの言葉をかけやすい。	36.4%	50.0%	9.1%	0.0%	4.5%
	AとBの合計が約86パーセントであり、良好であると評価されている。 今後も関係施設職員との円滑なコミュニケーションに努めていく。					

	評価項目	A	B	C	D	?
8	学校と北海道療育園は、適切な情報共有と連携ができている。	22.7%	68.2%	9.1%	0.0%	0.0%
	AとBの合計が約90%であり、適切に実施していると評価されている。 今後も北海道療育園職員の意見も伺いながら一層の改善充実に努めていく。					

【総括】

- ・全体的に高い評価をいただくことができた。
- ・項目1（授業を楽しみ）、項目3（ＩＣＴの活用）、項目5（児童生徒の安心・安全）は、？を除くとAとBの合計が100%であったが、項目4（人権の尊重）、項目6（身だしなみ）、項目7（相談のしやすさ）、項目8（学校・センターの連携）の「教職員の自覚」、「療育園との連携」については、C・Dの評価が散見された。学校と療育園の各々の事情を理解しつつ、互いに情報共有や連絡調整などを密にし、より良い連携を図っていく。
- ・アンケート結果及び寄せられた意見を踏まえ、教育活動と学校運営の一層の充実改善に努めていく。